

地域連携カフェ 特別編
「台風を操る!?—未来の技術「気象制御」は何をもたらす？」を開催します

12月8日(木)、オーテピア(高知市)にて地域連携カフェ 特別編として、ムーンショット型研究開発事業目標8 研究開発プロジェクト「社会的意思決定を支援する気象—社会結合系の制御理論」主催のワークショップ「台風を操る!?—未来の技術「気象制御」は何をもたらす？」を開催します。

【注目ポイント】

- ・未来の技術「気象制御」について、ムーンショット型研究開発事業目標8の当該研究開発プロジェクトを牽引するプロジェクトマネージャーから、最先端の研究を聞くことができます。
- ・昔から台風による大きな被害を受けてきた高知県が開催地に選定され、本テーマに関心のある高知県の高校生・行政の防災関係者・企業の方々・一般の方々の幅広い参加を予定しており、台風という身近なテーマについて様々な立場の人々の考えに触れることができます。

急激な気候変動が進むなか、私たちは台風・豪雨等による大規模災害に、毎年のように襲われています。生活基盤はもとより、命を失う原因とすらなりうる、台風や豪雨そのものを、技術的にコントロールすることで、大規模災害を回避し、安全安心な社会の実現を目指すというこのプロジェクトは、日本全国で注目されています。

このワークショップでは、参加者の皆さんが気象制御という新しい技術に対して、どのような期待を持ち、何を心配するのか、そしてその不安に対してどのような対処を望むのか、幅広い考えを伺うことを目的としています。

ワークショップは2つの講演と対話の時間の3部構成とし、高知工科大学 佐藤 慎司教授による最新の研究成果発表と、東京大学 澤田 洋平准教授によるムーンショット目標8 研究開発プロジェクトの紹介を経たのち、東京大学 松山 桃世准教授とともに、参加者同士で気象制御がもたらす未来を考える、対話の時間を設けています。

開催概要

日時：2022年12月8日(木) 14:00～16:30 (受付開始13:30～)

会場：オーテピア4階 研修室(高知県高知市追手筋2-1-1)

定員：50名(先着順・定員になり次第締め切り)

参加希望者は12月6日(火)までに申し込みが必要です。

参加費：無料

対象：テーマに関心のある高校生・大学生・一般の方どなたでも

申込先：高知工科大学 研究連携課

プログラム：
■ 趣旨説明

東京大学生産技術研究所 松山 桃世准教授

■ 講演：高知の沿岸防災

高知工科大学システム工学群 佐藤 慎司教授

(兼地域連携機構統合減災マネジメント研究室室長)

■ 講演：水害予測技術100年の進歩と気象制御への挑戦

東京大学大学院工学系研究科 澤田 洋平准教授

■ 対話

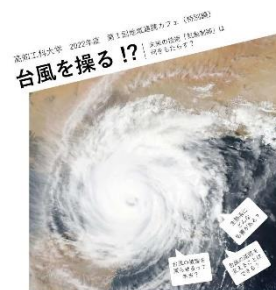
東京大学生産技術研究所 松山 桃世准教授

■ 閉会挨拶

高知みらい科学館 高橋 信裕館長



高知工科大学イベントページ
申し込みはこちらから



12月8日(木)

14:00 - 16:30

(受付開始: 13:30 ~)

詳細は要覧へ

【プログラム及びプロジェクトに関するお問い合わせ先】

東京大学生産技術研究所 社会連携・史料室 三浦

TEL. 03-5452-6871

E-mail :nikou@iis.u-tokyo.ac.jp

【参加に関するお問い合わせ先】

高知工科大学 入試・広報課 岡花・澤本

TEL.0887-53-1080

E-mail :kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp